

迎春

年頭のあいさつ

鬼北町長 松浦 甚一

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いでお元気に清々しい新年を迎えられた事と存じ、心からお慶び申し上げます。

昨年は、参議院選挙の与野党逆転という結果を受けて国政は混乱し、衆議院の解散問題も含め今年も不安定状態が続くと思われ、地方にもその影響は避けられず心配をしております。特にいわれている都市と地方の格差問題は深刻で、財政力を始め情報、医療格差は当町にとっては重大な問題と認識しております。しかし、鬼北町の計画している諸政策については、議会と協力し町民の理解と協力を頂いて英知を絞り工夫を凝らして着実に実施したいと考えています。

その第一は町立北宇和病院の安定した経営であります。病室改修、医療機器の整備は計画通り進めておりますが医師の確保が大変厳しい状況であり、県を始め各方面に旭川荘さん共々お願いをしているところであり、何としても現状維持ができる様、最大の努力をさせていただきます。診療所の運営につい

ても、住民の皆様にご不安を与える事のない様、引き続き努めてまいります。

第二にアルコール工場跡地の問題ですが、まず定住人口の増加を図る為の住宅用地として活用を進める事とし、国の補助金も決定し基幹道路整備、宅地造成、水道、排水整備を3月末までに完成させ、20年度には第一期分として24戸の分譲を予定しております。土地販売価格等については近々決定をし、お知らせしたいと考えております。また、種々の優遇措置を政策として提案したいと考えております。販売のご協力をよろしく願います。

第三の商工、農林業の活性化ですが、予定通り商工会が昨年の4月に合併をされ、一体感を持って積極的に活動を展開され着実な成果をあげておられる事に敬意を表します。また、日吉森林組合も県のご指導、関係者の皆様のご理解とご協力によって昨年9月に合併が出来ました。安心すると同時に心から皆様にお礼申し上げます。今後の発展を祈りたいと思います。

次に今年の大きな政治課題としては松野町との合併の問題であると思えます。クリアしなければ